

こんにちは ふくま健治です

活動報告 ニュース
2016年4月2号

第1回定例大分市議会が閉会

3月25日、市民の1年間の予算などを決め、閉会しました。

新年度予算の特徴

○平成28年度一般会計は、1,776億円と対前年比6.2%と過去最大規模の予算。

歳入では、自主財源—個人市民税は前年より1億6,716万3千の増、法人市民税は前年より1億6,781万6千円の減です。法人実効税率の引き下げによる、大企業優遇税制によるものです。

固定資産税は8億5,634万4千円の増、連動して都市計画税が前年比9,526万2千円増。自動車取得税交付金は、1億4,500万円増の、庶民の足である軽自動車税の引き上げによるものです。



依存財源は、低所得高齢者への臨時福祉給付金、扶助費の増などが主な要因です。歳出は一★新規事業51件、拡充事業46件、計97事業（17億4,700万円）

の内、86事業、13億3,100万円は、地方創生関連事業費です。

第1に、大分駅南区画土地整理事業費や横尾土地区画整理事業費などは聖域。第2に、碩田中学校区新設校施設整備事業費51億円が措置。第3に、豊予海峡ルート推進事業費の調査費などが計上。第4に、企業立促進助成金は資本金約444億円、内部留保金もある三井造船（株）への2億円の助成金が措置。第5に、すでに役割を終えた事業や不公正を助長する同和対策関連予算。第6に、一般職員の給与削減の一方で、常勤特別職や議員の期末手当の引き上げが予算化。

今回の予算は、市民への負担増・職員犠牲で、大型事業は聖域、大企業を擁護、新たな大型プロジェクトを推進し、市民の切実な願い・思いとはほど遠いと、反対討論をおこないました。

市民の願いが前進しました

- 小中学校普通教室に5カ年計画でエアコンが設置されることになりました。
- 障害者のタクシー利用が拡大され、条件緩和されました。

任期途中、2人の副市長交代

水道事業管理者、常勤監査委員も（異例な人事案件）市議会最終日（3月25日）、新たな副市長2人と、監査委員の選任について、議会の同意を求める議案が提案されました。

同意を求めている副市長は、一人は、国土交通省官僚の起用、もう1人は、元副市長の再起用です。

私は、①市長の提案理由では副市長の交代は必要ないこと。②豊予海峡道路推進のための官僚起用より、市民の暮らし直視した対策を重視すべき。③監査委員の選任についても、職員への士気低下につながる懸念がある。と両議案に反対討論をおこないました。

★党議員団は、昨年臨時議会での副市長選任について、今後の合意形成に「疑問」と指摘していました。

生活保護行政改善を県に申し入れ

3月29日、①ギャンブル者への保護費の支給停止・減額処分について、②当事者の同意のない扶養義務調査の是正について、申し入れをおこないました。



①については「不適切であり、是正指導をしている。②については、「家族関係を配慮するよう指導する」との回答がありました。

また4月8日には、別府市福祉事務所にも申し入れをおこないました。

大分生健会のお花見

4月6日、裏川公園には約30人の会員の参加がありました。お弁当、焼き肉を楽しみました。しばし歓談し、会員同士の交流を深めあいました。



私は、開会あいさつと乾杯をさせていただきました。3月26日には荏隈後援、3月10日には大道支部のお花見にも参加しました。

暮らしや地域の要望・ご意見をお寄せください。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505（FAX兼用）
携帯090-2714-5612

